

仙台青年会議所70周年・対談



日本銀行仙台支店
支店長 大山 慎介 氏

おおやま・しんすけ
1967年東京都生まれ。91年東京大学経済学部卒業。同年日本銀行入行。パリ事務所長、国際局国際調査課長、松江支店長などを歴任。調査統計局参事官から21年1月より仙台支店長に就任。趣味は硬式テニスと料理。

私は日銀の仕事について、水道局と消防署に例えてよく話しをします。火事（金融危機）を回避するためには水（お金）をかけることなので、そこで、よりよい水を安心して使ってもらうことです。皆さんが安心して生活できるように自らができるのことを着実に実施しています。菅原 水道局と消防署ですか、とても分かりやすいですね。ところで、東北、仙台の経済活動をどのように見ていますか。

大山 東北全体は、20年4・5月をボトムに回復してきましたが、半導体不足と東南アジアでのデルタ株感染拡大に伴う現地工場の生産減少、国内でのデルタ株によるサービスへの影響、そして復興事業の一巡による公共事業の減少などにより、持ち直しの動きが「一服」の状態です。ただ東北の中で仙台は、人や会社が集まっていますので、相対的には良いと思います。菅原 新型コロナの感染者数はか

しています。
私は日銀の仕事について、水道局と消防署に例えてよく話しをします。火事（金融危機）を回避するためには水（お金）をかけることなので、そこで、よりよい水を安心して使ってもらうことです。皆さんが安心して生活できるように自らができるのことを着実に実施しています。仙台青年会議所（以下JCI仙台）

「豊かなまちを目指しムーブメント通した人づくり」——菅原

菅原 青年会議所はもともとアメリカで生まれ、世界で15万人、日本では2万7000人の会員があります。仙台青年会議所（以下JCI仙台）



公益社団法人 仙台青年会議所
理事長 菅原 啓太 氏

すがわら・けいた
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2015年仙台青年会議所入会。19年七夕花火祭特別委員長、20年副理事長。2021年1月1日より仙台青年会議所理事長。趣味は旅行。

公益社団法人仙台青年会議所（JCI-仙台）は70周年の節目を迎えた。人と人との関係が希薄になっている時代だからこそ、その活動と役割の大切さが今、注目されている。2021年1月、日銀仙台支店長に就任した大山慎介氏と、豊かなまち・ひとづくりをテーマに、新型コロナにおけるビジネス変化なども踏まえ、対談した。（進行・仙台経済界）

「豊かなまち・ひとづくりを考えること」

感じています。

「日銀の仕事は、水道局と消防署なのです」——大山

菅原 日銀仙台支店は1941年に開設されました。どのような仕事をされているのでしょうか。

大山 若い経営者の方々が集まり、せつせたくまさることは、良いまちづくりのために大変重要な要素です。

大山 所属期間が40歳までと限られていますので、何のために活動しているのかを常に考えながら、ポジティブに行動してもらうことが大切です。現在の会員数は185人で、女性会員は23人です。

大山 仙台支店は、今年でちょうど80周年になります。中央銀行は、日本の物価の安定のため、金融政策を決定、実行するのが役目ですが、仙台支店は、東北の市中銀行を通して資金の安定をはかり、さらに分析した経済状況などを本部にレポート



撮影協力・日本銀行仙台支店

※対談は、新型コロナ感染に対応するため、常時マスクを着用して実施しました。撮影時のみ外しています。

「経済を拡大するには若い経営者が必要です」——大山

大山 経営者の年齢が高くなると、新規投資が下がってきます。経済を広げていくには、若い経営者が必要なのです。また、まちは人の集まりで、人がいるからまちになります。そのため、まちを発展させることには、非常に大事な役割があります。

大山 ストライクゾーンをよく分かっている企業が生き残っているのを見極めることを迫られるキッカケになったのではないでしょうか。そのストライクゾーンにどう合わせていいくかが、今後の商売の鍵を握るようになります。

大山 どのようなお客様が、どのような価値を見いだしてくれるのかを見

ました。

大山 まさに、少人数、高単価傾向になり、平均的ビジネスはやりにくくなっています。

大山 つまり、団体から個人に移つてきました。旅行業の変化で言えば、少人数、高単価傾向になり、平均的ビジネスはやりにくくなっています。

大山 そのため、自分にとって何に価値があることなのかを、考え始めるキッカケになりました。

大山 そのため、自分にとって何に価値があることなのかを、考え続けてほしいと思います。

大山 仙台支店は、まず支店で現場を経験させます。それは、地域でお役に立つことの大しさを知る人になつてほしいからです。個人的に現場を経験させます。それは、地域で働く人には、逃げないで考えて続けることはとても大事なことです。

大山 仙台支店は、私たちも、青少年育成のために、子どもたちにさまざまな経験をする機会を創っています。逃げないで考えて続けることはとても大事なことです。

大山 仙台支店は、親子関係です。まさに大山支店長がおつしやった通りだと思います。それは家庭でしか養われません。

大山 本日は、大変貴重なお話をいただき、ありがとうございました。